平成１８年（２００６年）度

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文試験

（注意）
１．問題冊子（表紙を含む）は４枚です。
２．問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
３．問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
４．解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成１８年度（2006 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小　論　文

次の文章を読み、以下の問いに解答しなさい。

問１　著者が主張する

①　「侵害原理」（１１０字程度）

②　「正当なパターナリズム」（９０字程度）

③　「モラリズム」（１４０字程度）、

のそれぞれの内容を、著者の挙げている具体例を引用するのではなく、あなたの言葉でその概念を定義しなさい（上記字数の程度で述べること）。

問２　著者の主張する「正当なパターナリズム」に対するあなたの考え方を、「自己決定権」との関係において、賛否を明確にしたうえ、反論にも留意しながら８００字程度で述べなさい。

澤登俊雄　著「少年法　基本理念から改正問題まで」（中公新書、１９９９年）１２８頁３行目から１３５頁６行目第１文まで（ただし、１３２頁１行目第２文から５行目第２文の前までは省略）、同頁７行目から１３５頁３行目までを引用。

以　上